

事務事業名		清掃推進事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業		
政策体系	政策名	06 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		
	施策名	26 生活環境の保全				
	基本事業名	02 環境に配慮した生活の推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
所属	部課名	生活副支部市民環境課		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
	課長名	安田由紀男				
	係名	環境衛生係	電話			27-3111
	担当者	今野宏紀	内線			125
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)		
6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施を呼びかけ、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図る。 市では、道路側溝から引き上げられた汚泥の一時仮置場を確保すると共に、土木業者等に依頼して汚泥運搬車両を各地域に配車している。また、独自で車両を用意した地域に対しても、2台分を限度として1台当たり2,000円を車両借り上げ料として補助している。 主な業務は、①企画、日程調整、汚泥の一時仮置場の確保、②車両の借り上げ、手配、③開催案内の通知、④当日の配車、対応、⑤報告書の徴収、とりまとめ、⑥特殊車両等の借り上げ料、補助金の支払い、⑦汚泥処理依頼先との調整、汚泥の処理。 事業費は、車両借上料、汚泥処理委託料などのほか、清掃活動推進に係るさまざまな用途に支出される。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 市の車両借上台数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>イ 地域での車両借上台数</td> <td>台</td> </tr> <tr> <td>ウ 実施日数</td> <td>日</td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 市の車両借上台数	台	イ 地域での車両借上台数	台	ウ 実施日数	日
名称	単位										
ア 市の車両借上台数	台										
イ 地域での車両借上台数	台										
ウ 実施日数	日										
前年度実績(前年度に行った主な活動) 市民総参加のもと、6月の第1日曜日の早朝に、市内全域の清掃活動の実施により、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を促し、快適で住みよい生活環境の保全を図った。		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 地域公民館数</td> <td>館</td> </tr> <tr> <td>キ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	カ 地域公民館数	館	キ 人口	人	ク	
名称	単位										
カ 地域公民館数	館										
キ 人口	人										
ク											
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 同上		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 清掃活動参加数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 市内の清掃活動実施地域の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	サ 清掃活動参加数	人	シ 市内の清掃活動実施地域の割合	%	ス	
名称	単位										
サ 清掃活動参加数	人										
シ 市内の清掃活動実施地域の割合	%										
ス											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等											
市民 生活環境(特に道路側溝の汚泥)											
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)											
清掃活動の実施により、生活環境が清潔に保たれる。 地域環境保全について市民意識が高まる。											
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)											

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	単位							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	人件費	一般財源	千円	1,124	1,389	1,935	1,935	1,935	1,935
		事業費計(A)	千円	1,124	1,389	1,935	1,935	1,935	1,935
		正規職員従事人数	人	18	16	16	16	16	16
		延べ業務時間	時間	560	560	560	560	560	560
		人件費計(B)	千円	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240	2,240
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,364	3,629	4,175	4,175	4,175	4,175	
⑤ 活動指標		ア 台	26	26	26	26	26	26	
		イ 台	18	12	12	12	12	12	
		ウ 日	1	1	1	1	1	1	
⑥ 対象指標		カ 館	130	129	129	129	129	129	
		キ 人	38167	37633	-	-	-	-	
		ク							
⑦ 成果指標		サ 人	7599	7729	7500	7500	7500	7500	
		シ %	100	100	100	100	100	100	
		ス							

事務事業ID	0083	事務事業名	清掃推進事業
--------	------	-------	--------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
市民総参加による市内の清掃活動を実施することにより、快適で住みよい生活環境を保持し、良好な地域環境の形成に対する市民意識の高揚を図るため、昭和45年度から開始。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
・清掃活動開始当初は、側溝の汚泥上げ、草刈りのほか、薬剤散布等も実施していたが、現在は、衛生状態等の生活環境の向上により、薬剤散布を行う地域は減少してきている。  
条例で年2回の実施とされている市内一斉清掃のうち、秋は市民運動推進協議会が担当していたが、組織変更により市民環境課において実施(秋はゴミ袋を配付し活動方法は各地区公民館に一任)することになった。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
・参加者の高齢化により作業の縮小を余儀なくされているので、若者の参加促進が要望されている。  
・泥上げできなかった箇所や草刈をして欲しい場所について、多くの地域から要望されている。  
・トラックの配車に係る借上料の増額を要望されている。(現行:2tトラック:8,500円/台、4tトラック:13,000円/台)

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	事業の実施により、生活環境の保持のほか、市民意識の高揚も図られるため、自発的な環境保全活動につながり、良好な生活環境の確保に結び付く。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	市が関与しなければ、汚泥や草等の廃棄物の処理が困難なため。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	継続して実施していくことにより、市民意識の高揚が図られ、さらに充実した活動が見込める。また、地域だけでなく、事業所等にも清掃活動の実施を促すことにより、一層の成果の向上が見込める。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	一斉清掃への市民総参加を呼びかけて実施しているが、参加者が高齢化しつつあるため、若い世代の参加促進と継続した事業の実施により、市民意識の向上を図り、さらに参加者を増やし、事業の成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事業を廃止した場合、生活環境の清掃活動については地域や住民個々の自主性に頼らざる得なくなる。また、道路側溝の汚泥処理について大きな成果を挙げている事業であるため、住民の協力が得られなくなることで、道路維持に係る市の負担が増加する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	事業費の大半が廃棄物処理に係る費用であり、適正に廃棄物を処理する上で、必要最低限の費用で事業を実施している状況である。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	人件費等の効率化を図るため、住民や地元の土木業者にも協力を要請し、平成19年度から1日で実施した。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	市内全域を対象とした事業のため、特定の受益者負担は無く、事業費は全て一般財源である。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																			
<p>1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止</p>	<p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上		●		維持			×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上		●																		
維持			×																	
低下		×	×																	
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 人口減少と参加者の高齢化により作業が縮小しつつあることから、若い世代の参加を促す働きかけが必要である。本事業に限定したものではなく、地域コミュニティの形成という観点からも対策が必要。																				

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
<p>1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止</p>	<p>将来にわたり市民ぐるみで取り組む清掃活動を継続実施していくために、若い世代(小・中・高校生も含む)の参加を促す施策を行いながら、継続して事業を実施する。</p>